

DMAT10周年



# 20周年記念大会

## 東北に学び首都直下・南海トラフに備える

### 第20回

# 日本集団災害医学学会 総会・学術集会

Fukushima

Tachikawa

### 平成27年2月26日(木)~28日(土)

<http://web.apollon.nta.co.jp/jadm20/>

会場:たましんRISURUホール(立川市市民会館) / ザ・クレストホテル立川

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20

〒190-0022 東京都立川市錦町1-12-1

会長:小井土 雄一(国立病院機構災害医療センター 臨床研究部・救命救急センター)

副会長:田勢 長一郎(福島県立医科大学 救急医療学講座)

事務局長:近藤 久禎(国立病院機構災害医療センター 臨床研究部)

演題登録期間 2014年8月5日(火)~9月17日(水)

第20回日本集団災害医学学会総会・学術集会 事務局

〒190-0014 東京都立川市緑町3256  
独立行政法人国立病院機構災害医療センター 臨床研究部  
TEL:042-526-5701 FAX:042-526-5706

第20回日本集団災害医学学会総会・学術集会 運営事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階  
株式会社日本旅行 西日本MICE営業部  
TEL:06-6342-0212 FAX:06-6342-0214 E-mail:jadm\_20@nta.co.jp



Japanese Association for Disaster Medicine

## 第20回日本集団災害医学会総会・学術集会 主要プログラム

### ■会長講演

第1日目（2月26日）14：00～14：30

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

「災害医療への道」

小井土雄一（国立病院機構災害医療センター臨床研究部）

座長 森野 一真（山形県立救急救命センター）

### ■副会長講演

第2日目（2月27日）17：40～18：00

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

「原発事故におけるドクターヘリ」

田勢長一郎（福島県立医科大学医学部救急医療学講座）

座長 前川 和彦（ツル虎の門外科リハビリテーション病院）

### ■国立病院機構理事長挨拶

第1日目（2月26日）9：40～10：00

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

「国立病院機構と災害医療」

桐野 高明（国立病院機構理事長）

### ■20周年記念鼎談

第2日目（2月27日）10：50～11：50

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

太田 宗夫（東洋医療専門学校校長）

山本 保博（医療法人社団大坪会東和病院院長）

（司会）浅井 康文（雄心会函館新都市病院名誉院長）

### ■招待講演

1. 第2日目（2月27日）9：00～9：50

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

“The Organization and Management of Volunteers in Disasters”（日本語による講演）

Leo V. Bosner（Director of Training, Education, and Research, International Institute of Global Resilience）

座長 杉本 勝彦（国士舘大学大学院救急システム研究科）

2. 第2日目（2月27日）17：10～17：50

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

“The SEWOL Ferry Capsized Incident in Korea”

Gil Joon Suh（Professor, Department of Emergency Medicine, Seoul National University Hospital）

座長 高里 良男（国立病院機構災害医療センター）

3. 第3日目 (2月28日) 10:30~11:00  
 第2会場 (たましんRISURUホール 3階 小ホール)  
 “Disaster Medicine and Medical Emergency Management: Experience based observations” (同時通訳あり)  
 Anthony Macintyre (Professor of Emergency Medicine, The George Washington University)  
 座長 井上 潤一 (山梨県立中央病院救命救急センター)
4. 第3日目 (2月28日) 11:10~11:50  
 第2会場 (たましんRISURUホール 3階 小ホール)  
 “Global Challenges, Disaster and the Shift to Resilience” (同時通訳あり)  
 Paul Arbon (President of World Association for Disaster and Emergency Medicine)  
 座長 鵜飼 卓 (兵庫県災害医療センター)

## ■基調講演

1. 第1日目 (2月26日) 10:00~10:30  
 第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)  
 「原発事故と公衆被ばくの課題と対策：チェルノブイリと福島の実験から」  
 山下 俊一 (長崎大学理事・副学長／福島県立医科大学副学長)  
 座長 松井 史郎 (福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター  
 県民健康管理センター国際連携・コミュニケーション部門)  
 中村 通子 (朝日新聞社)
2. 第2日目 (2月27日) 9:50~10:20  
 第5会場 (ザ・クレストホテル立川 3階 桐)  
 Moving forward from Sumatra Earthquake lesson learnt  
 Wiwat Seetamanotch (National Institute for Emergency Medicine)  
 座長 横田 裕行 (日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)  
 甲斐 達朗 (大阪府済生会千里病院)
3. 第2日目 (2月27日) 13:40~14:10  
 第3会場 (たましんRISURUホール 5階 第1会議室)  
 「集団災害における診療放射線技師の役割」  
 大棒 秀一 (特定非営利活動法人立ち上がるぞ！宮古市田老)  
 座長 小川 清 (公益社団法人日本診療放射線技師会)  
 小笠原 哲 (国立病院機構災害医療センター中央放射線部)
4. 第2日目 (2月27日) 15:10~14:40  
 第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)  
 「福島原発事故による被ばくのレベル」  
 石川 徹夫 (福島県立医科大学放射線物理化学講座)  
 座長 神谷 研二 (広島大学原爆放射線医学研究所)  
 大津留 晶 (福島県立医科大学放射線健康管理学講座)

5. 第3日目(2月28日) 9:00~9:30

第3会場(たましんRISURUホール 5階 第1会議室)

「災害専門医の育成—専門医制度の現状から—」

有賀 徹(昭和大学病院長/一般社団法人専門医認定機構)

座長 眞瀬 智彦(岩手医科大学医学部災害医学講座)

萩池 昌信(香川大学防災教育センター)

6. 第3日目(2月28日) 15:10~15:40

第1会場(たましんRISURUホール 2階 大ホール)

「フクシマの避難者—「国内避難民」の観点から—」

喜多 悦子(公益財団法人笹川記念保健協力財団理事長/

ジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院上級研究員)

座長 塚田 泰彦(福島県立医科大学附属病院救急医療学講座)

小早川義貴(国立病院機構災害医療センター福島復興支援室)

■教育講演

1. 第1日目(2月26日) 14:30~15:00

第1会場(たましんRISURUホール 2階 大ホール)

「総合的な防災力の向上と効果的な災害医療の実現をめざして」

目黒 公郎(東京大学生産技術研究所)

座長 福家 伸夫(帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

2. 第1日目(2月26日) 15:00~15:30

第2会場(たましんRISURUホール 3階 小ホール)

「災害リハビリテーションの理解のために」

栗原 正紀(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会/長崎リハビリテーション病院)

座長 太田 祥一(医療法人社団親樹会恵泉クリニック/東京医科大学救急災害医学分野)

3. 第2日目(2月27日) 9:20~9:50

第5会場(ザ・クレストホテル立川 3階 桐)

「御巢鷹—日本航空機墜落事故—」

前田 陽子(前橋赤十字病院)

座長 丸山 嘉一(日本赤十字社医療センター国内医療救援部, 肝胆脾・移植外科)

特別発言 饗場 庄一(前橋赤十字病院)

4. 第2日目(2月27日) 11:10~11:50

第2会場(たましんRISURUホール 3階 小ホール)

「地震だ! どうする? —地震の揺れ対策と減災—」

角田 史雄(埼玉大学名誉教授)

座長 藤井 千穂(社会福祉法人旭川荘 旭川荘南愛媛病院)

5. 第3日目(2月28日) 9:30~10:00

第1会場(たましんRISURUホール 2階 大ホール)

「DMATの設立と今後」

辺見 弘(国立病院機構災害医療センター名誉院長)

座長 野口 宏(愛知県救急医療情報センター)

## ■総括セッション

第3日目 (2月28日) 17:20~18:00

第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)

座長 森野 一真 (山形県立救命救急センター)

近藤 久禎 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

「東北 (福島) から学ぶ」

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 田勢長一郎

「南海トラフ、首都直下型地震に備える」

愛知医科大学災害医療研究センター 中川 隆

「東京オリンピック」

国立病院機構災害医療センター臨床研究部 小井土雄一

「全ての医療従事者が学ぶべきもの」

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学講座 大友 康裕

「学際連携企画」

岩手医科大学医学部災害医学講座 眞瀬 智彦

「記念年次関連セッション」

兵庫県災害医療センター 中山 伸一

## 東北 (福島) から学ぶ

### ■シンポジウム3「原発事故への緊急対応」

第1日目 (2月26日) 15:00~17:00

第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)

座長 田勢長一郎 (福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

谷川 攻一 (広島大学大学院救急医学講座)

SP3-1 福島県災害対策本部の対応

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 田勢長一郎

SP3-2 原発事故の特殊性と対応の留意点

杏林大学医学部附属病院 山口 芳裕

SP3-3 もしもの時、あなたはどうか動くか

一般財団法人全国危険物安全協会 佐藤 康雄

SP3-4 原発事故への緊急対応：三次被ばく医療機関としての広島大学の役割

広島大学大学院救急医学講座 谷川 攻一

SP3-5 日本救急医学会の原発事故への医療支援

帝京大学医学部救急医学講座 坂本 哲也

### ■パネルディスカッション9「避難」

第2日目 (2月27日) 13:10~15:10

第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)

座長 重富 秀一 (福島県厚生農業協同組合連合会双葉厚生病院)

島田 二郎 (福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

PD9-1 備えあれば憂いなし

陸上自衛隊富士学校 國井 松司

PD9-2 病院避難について

福島県地域医療課 鈴木 聡

PD9-3 東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の経験から得られた教訓

南相馬市立総合病院 金澤 幸夫

- PD9-4 大熊町の原子力災害からの避難について  
福島県大熊町 石田 仁
- PD9-5 「いいたてホーム」計画的避難の対応について  
いいたてホーム 三瓶 政美
- PD9-6 報道現場から見た避難  
福島民報郡山本社報道部 関根 英樹
- PD9-7 情報共有と連携  
福島県警察本部警備部 平野 亨
- PD9-8 高野病院の経験から  
医療法人社団養高会高野病院 高野 己保
- PD9-9 福島第一原子力発電所事故からの病院避難  
福島県厚生農業協同組合連合会双葉厚生病院 重富 秀一

## ■パネルディスカッション6「スクリーニング」

第2日目（2月27日）9：20～10：50

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

座長 田代 聡（広島大学原爆放射線医科学研究所細胞修復制御）  
近藤 久禎（国立病院機構災害医療センター）

- PD6-1 東日本大震災を踏まえた今後のスクリーニングのあり方について  
福島県総務部財政課 山岸 広輔
- PD6-2 福島県におけるスクリーニング活動について  
国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎
- PD6-3 被災地保健所における被ばくスクリーニングについて  
福島県衛生研究所 笹原 賢司
- PD6-4 小児甲状腺被ばく線量スクリーニングの実際と問題点  
広島大学原爆放射線医科学研究所細胞修復制御 田代 聡
- PD6-5 ビッグパレットふくしま避難所開所時における活動  
国立病院機構東京医療センター放射線科 田村 正樹

## ■パネルディスカッション1「リスクコミュニケーション」

第1日目（2月26日）10：00～12：00

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

座長 松井 史郎（福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター  
県民健康管理センター国際連携・コミュニケーション部門）  
中村 通子（朝日新聞社）

基調講演1 10：00～10：30

「原発事故と公衆被ばくの課題と対策：チェルノブイリと福島の経験から」

長崎大学理事・副学長／福島県立医科大学副学長 山下 俊一

パネルディスカッション1 10：30～12：00

- PD1-1 専門家と一般住民のコミュニケーションの形  
福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター国際連携・コミュニケーション部門  
松井 史郎
- PD1-2 災害情報と心理—SNSを用いたコミュニケーションの今後の課題—  
情報システム研究機構新領域融合研究センター国立情報学研究所 田中 優子
- PD1-3 福島「県民健康調査」甲状腺検査出張説明会の取り組みについて  
福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター国際連携・コミュニケーション部／疫学講座  
日野 優子

PD1-4 自治体保健師からみたリスクコミュニケーション

檜葉町住民福祉課保健衛生係 玉根 幸恵

PD1-5 放射線リスクコミュニケーションにいま何が求められているのか

大分県立看護科学大学看護学部人間科学講座環境保健学研究室 甲斐 倫明

## ■パネルディスカッション12「低線量被ばく」

第2日目 (2月27日) 15:10~17:40

第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)

座長 神谷 研二 (広島大学原爆放射線医科学研究所)

大津留 晶 (福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座)

基調講演4 15:10~15:40

「福島原発事故による被ばくのレベル」

福島県立医科大学放射線物理化学講座 石川 徹夫

パネルディスカッション12 15:40~17:40

PD12-1 これまでの低線量被ばくの疫学研究と今後の展望

鹿児島大学医歯学総合研究科 秋葉 澄伯

PD12-2 東日本大震災後の福島の健康状況と低線量被ばく疫学調査の意義

福島県立医科大学医学部疫学講座/福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

大平 哲也

PD12-3 原発事故後の低線量被ばくの福島における現状と対応

福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座/福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

大津留 晶

PD12-4 疫学情報・科学情報を住民に伝えることの意味

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター国際連携・コミュニケーション部門

松井 史郎

## ■シンポジウム10「緊急被ばく医療体制」

第3日目 (2月28日) 10:00~12:00

第1会場 (たましんRISURUホール 2階 大ホール)

座長 明石 真言 (独立行政法人放射線医学総合研究所理事)

長谷川有史 (福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座)

SP10-1 緊急被ばく医療体制：二次被ばく医療機関は何故想定通りに機能しなかったのか？

福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座 長谷川有史

SP10-2 Jヴィレッジメディカルセンターにおける医療—今だから見えてくる課題—

北里大学医学部救命救急医学 浅利 靖

SP10-3 5/6号サービス建屋救急医療室

広島大学救急医学 廣橋 伸之

SP10-4 福島第一原発事故前の緊急被ばく医療体制

放射線医学総合研究所REMAT医療室 富永 隆子

SP10-5 三次被ばく医療機関の役割と福島第一原発事故対応における活動

放射線医学総合研究所REMAT医療室 富永 隆子

SP10-6 原子力災害現地対策本部における医療連携の課題と対策

横浜市立大学大学院医学研究科救急医学 森村 尚登

SP10-7 福島原発事故収束作業への産業医科大学の取り組み

産業医科大学産業医実務研修センター 立石清一郎

■ワークショップ9「被災者生活支援」

第3日目（2月28日）13：10～15：10

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

座長 天野 和彦（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）

熊谷 敦史（福島県立医科大学災害医療総合学習センター）

WS9-1 福島県「県民健康調査」からみた福島での震災後の健康問題と支援のあり方

福島県立医科大学医学部疫学講座／福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター疫学・統計部門  
大平 哲也

WS9-2 避難生活 そして帰村を通しての保健活動

川内村役場 猪狩 恵子

WS9-3 子どもの心身の健康のために福島での保育の取り組み—子どもと保護者の実際と対策—

福島めばえ幼稚園 伊藤ちはる

WS9-4 福島県相双地区の課題と被災者への生活支援

NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 米倉 一磨

WS9-5 東日本大震災におけるふくしまの被災者支援—大規模避難所運営の実態から—

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 天野 和彦

WS9-6 原発事故後のリスクコミュニケーション；納得して生活するために

福島県立医科大学災害医療総合学習センター 熊谷 敦史

WS9-7 東日本大震災の被災者健康支援への取り組み

福島県北保健福祉事務所／福島県立医科大学臓器再生外科 遠藤 幸男

■パネルディスカッション18「復興に向けた取り組み」

第3日目（2月28日）15：10～17：10

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

座長 塚田 泰彦（福島県立医科大学附属病院救急医療学講座）

小早川義貴（国立病院機構災害医療センター福島復興支援室）

基調講演6 15：10～15：40

「フクシマの避難者—「国内避難民」の観点から—」

公益財団法人笹川記念保健協力財団理事長／

ジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院上級研究員

喜多 悦子

パネルディスカッション18 15：40～17：10

PD18-1 東日本大震災の被災と復興—福島県における祭祀と芸能を中心に—

福島県文化財保護審議会委員 懸田 弘訓

PD18-2 多数傷病者の発生時の対応について

双葉地方広域市町村圏組合富岡消防署檜葉分署 坂本 広喜

PD18-3 川内村の復興に向けた取り組み

福島県双葉郡川内村役場 遠藤 雄幸

PD18-4 震災後の復興に向けた医療上の取り組み

南相馬市立総合病院 及川 友好

PD18-5 避難生活を支える健康支援の取り組み

飯館村役場健康福祉課健康係 松田久美子

## ■シンポジウム8「防ぎえた災害死」

第2日目（2月27日）15：10～17：10

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 大友 康裕（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野）

山内 聡（大崎市民病院救命救急センター）

- SP8-1 東日本大震災での岩手県における防ぎえる災害死に関する研究  
岩手医科大学医学部災害医学講座／岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター 眞瀬 智彦
- SP8-2 東日本大震災の被災地域医療機関における防ぎえた災害死に関する調査：  
宮城県医療機関後ろ向き調査結果  
大崎市民病院救命救急センター／東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野  
山内 聡
- SP8-3 広域搬送後早期に死亡した患者の死因について  
青空会大町病院麻酔科・救急科 佐藤 敏光
- SP8-4 岩手県大船渡市・陸前高田市における避難所被災者の入院患者の検討  
岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野目辰味
- SP8-5 大規模災害時の高齢者への肺炎球菌ワクチンの提供：援助における公正性の課題  
国立感染症研究所感染症疫学センター 牧野 友彦
- SP8-6 防ぎ得た災害死としての肺血栓塞栓症  
石巻赤十字病院呼吸器外科 植田 信策
- 特別発言 阪神・淡路大震災との比較  
大阪府立急性期・総合医療センター 吉岡 敏治

## 南海トラフ，首都直下型地震に備える

### ■ワークショップ3「南海トラフ地震への対応」

第2日目（2月27日）9：00～11：00

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 北川 喜己（名古屋掖済会病院救命救急センター）

三村 誠二（徳島県立中央病院救急科）

- WS3-1 災害時リハビリテーション支援のための教育プログラムの開発  
—南海トラフ巨大地震を控えて—  
大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄
- WS3-2 南海トラフ巨大地震への被害想定に応じたDMATの対応  
国立病院機構大阪医療センター救命救急センター 定光 大海
- WS3-3 東海地震による大規模人的被害を軽減するための取り組み  
—東日本大震災の教訓から—静岡県浜松市の対策  
浜松市消防局 吉田 拳人
- WS3-4 スマートフォン動画伝送システムの災害時活用についての検証  
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一
- WS3-5 高速道路施設を活用した有効な参集拠点場所のあり方  
愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘
- WS3-6 平成26年度広域医療搬送訓練—被災県大分の活動報告—  
大分大学医学部附属病院高度救命救急センター 石井 圭亮
- WS3-7 高知県における南海トラフ地震の応急期対策  
高知県健康政策部医療政策課 川内 敦文
- WS3-8 南海トラフ地震に対する陸上自衛隊の対応—主被災地域を担当する中部方面隊の現状と課題—  
陸上自衛隊中部方面総監部 小池 啓司

## ■ワークショップ4「首都直下型地震への対応」

第2日目（2月27日）13：10～15：10

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 山口 芳裕（杏林大学医学部付属病院）

阿南 英明（藤沢市民病院救命救急センター）

WS4-1 緊急消防援助隊の役割と今後の対応

総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室 杉田 憲英

WS4-2 首都直下型地震への対応 「自衛隊の活動」

防衛省統合幕僚監部 清住 哲郎

WS4-3 首都直下地震に対する東京都医師会の試み—東京JMAT—

東京都医師会救急委員会災害医療研修部会委員 大桃 丈知

WS4-4 厚生労働省DMAT事務局（大阪）の現状と課題について

国立病院機構大阪医療センター 梶野健太郎

WS4-5 首都直下地震における公衆衛生的長期支援対策

川崎市健康福祉局 坂元 昇

WS4-6 首都直下型地震対応の現状と課題—災害拠点病院・地域災害医療コーディネーターとして—

東邦大学医療センター大森病院救急・災害統括部 吉原 克則

WS4-7 首都直下地震時の日本赤十字社救護活動について

日本赤十字社医療センター国内医療救護部、肝胆膵・移植外科 丸山 嘉一

## ■特別セッション「街として考える災害時の医療—自助・共助の地域医療—」（市民公開講座）

第3日目（2月28日）16：00～17：00

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

司会 野口 英一（公益財団法人東京防災救急協会）

東京都の災害医療体制について

東京都福祉保健局

災害時のDCPと医療

一般財団法人都市防災研究所上席研究員 守 茂明

災害時地域拠点病院と地域協力施設との連携

災害時地域拠点病院

地域における市民との医療連携

東京医科大学救急・災害医学分野兼任教授／  
医療法人親樹会恵泉クリニック理事長・院長 太田 祥一

## ■ワークショップ2「自治体の対応」

第1日目（2月26日）15：30～17：00

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 川内 敦文（高知県健康政策部医療政策課）

田邊 晴山（救急振興財団救急救命東京研修所）

WS2-1 徳島県における戦略的災害医療プロジェクトの推進

徳島県危機管理部／徳島県保健福祉部健康増進課／徳島県立中央病院地域医療科 鎌村 好孝

WS2-2 三重県における災害医療対策について—南海トラフ巨大地震への備え—

三重県健康福祉部医療対策局地域医療推進課 福本 敏和

WS2-3 南海トラフ地震への静岡県の対応

静岡県健康福祉部地域医療課 村松 聡

WS2-4 大規模災害時における公衆衛生チームと医療救護チームのより効果的な連携体制や役割分担の検討

東京都福祉保健局医療政策部 田口 健

WS2-5 神奈川県・横浜市における災害医療対応の現況

横浜市立大学大学院医学研究科救急医学 森村 尚登

■ワークショップ5「災害医療コーディネーターのあり方」

第2日目（2月27日）15：00～17：00

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 石井 正（東北大学病院総合地域医療教育支援部）

水野 浩利（札幌医科大学救急医学講座）

WS5-1 石巻医療圏におけるコーディネーション経験より考える地域災害医療コーディネーションの在り方  
東北大学病院総合地域医療教育支援部／宮城県災害医療コーディネーター 石井 正

WS5-2 都道府県災害医療コーディネート体制の在り方について

厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療対策室 葛西 毅彦

WS5-3 災害医療コーディネートの指針に向けて

山形県立救命救急センター 森野 一真

WS5-4 災害救護はコーディネーション力によって決まる

一組織単位でのコーディネーションの重要性 日本赤十字社の対応一

武蔵野赤十字病院 勝見 敦

WS5-5 緊急時騒動調整システムICSの必要性

日本医師会総合政策研究機構 永田 高志

WS5-6 災害医療コーディネーターと保健所の連携

川崎市健康福祉局 坂元 昇

WS5-7 高知県における災害薬事コーディネーター活動

高知大学医学部附属病院薬剤部 宮村 充彦

■ワークショップ1「トリアージのあり方」

第1日目（2月26日）10：00～11：30

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 嶋津 岳士（大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター）

森野 一真（山形県立救命救急センター）

WS1-1 災害 triage 後の逐次傷病者搬出は現場混乱性を軽減するか：

Shannonの情報理論を用いた検討 第1報

帝京大学医学部救急医学講座・救命救急センター 安心院康彦

WS1-2 医療資材不足下の災害救護所における医療班分割は有効か？：

Shannonの情報理論を用いた検討 第2報

帝京大学医学部救急医学講座・救命救急センター 安心院康彦

WS1-3 トリアージ・タグを活用した傷病者の動的情報管理

—4枚組タグの開発と活動要領の変更—

京都府立医科大学医学研究科救急・災害医療システム学 山畑 佳篤

WS1-4 医療救護訓練時におけるトリアージの会話分析

関西外国語大学短期大学部 川島 理恵

WS1-5 今こそ見直そう、トリアージタグ

東京都医師会救急委員会 石川 秀樹

■ワークショップ7「災害専門医の養成」

第3日目（2月28日）9：00～10：30

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

座長 眞瀬 智彦（岩手医科大学医学部災害医学講座）

萩池 昌信（香川大学防災教育センター）

基調講演5 9：00～9：30

「災害専門医の育成—専門医制度の現状から—」

昭和大学病院長／一般社団法人専門医認定機構 有賀 徹

ワークショップ7 9：30～10：30

WS7-1 岩手医科大学の災害医学教育

岩手医科大学医学部災害医学講座／岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター 眞瀬 智彦

WS7-2 東北大学の災害医療教育

東北大学災害科学国際研究所／東北大学大学院医学系研究科 江川 新一

WS7-3 南海トラフ巨大地震に対する地域人材の養育成：四国防災・危機管理特別プログラムを受講して  
高松赤十字病院医療機器管理課 光家 努

WS7-4 災害専門医の育成—リーダーシップの本質と経験学習の観点から考える—

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部災害看護コース 石井美恵子

■ワークショップ10「兵庫行動枠組み（HFA）1から2へ—世界の潮流から—」

第3日目（2月28日）15：10～17：10

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 江川 新一（東北大学災害医療国際協力学）

大友 康裕（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野）

WS10-1 健康を中心にした災害リスク軽減の行動枠組みへ

東北大学災害医療国際協力学 江川 新一

WS10-2 健康危機管理からみたポスト兵庫行動枠組みと展望

厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室 亀山 大介

WS10-3 災害に脆弱な集団に対する保健医療計画

国立病院機構災害医療センター臨床研究部 鶴和 美穂

WS10-4 心理社会的影響という観点からの災害への備え—HFA2に向けた東日本大震災からの教訓—

東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 富田 博秋

WS10-5 健康を守るインフラとロジスティックスによる災害リスク軽減

山形県立救命救急センター 森野 一真

WS10-6 災害時に健康を守るための教育と訓練プログラム

国立保健医療科学院健康危機管理研究部 金谷 泰宏

## 東京オリンピック・パラリンピック

■ワークショップ6「マَسギャザリング」

第3日目（2月28日）9：00～10：30

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 森村 尚登（横浜市立大学大学院医学研究科救急医学）

勝見 敦（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

WS6-1 爆発物テロに対する効果的な3T対応のあり方—ボストンマラソン爆弾事件に学ぶ—

山梨県立中央病院救命救急センター／東京医科歯科大学救急災害医学／  
平成26年度厚生労働科学研究CBERN事態における公衆衛生対応研究班 井上 潤一

- WS6-2 東京マラソンから東京オリンピック・パラリンピックへ 顔の見える関係を活かす医療  
東京マラソン2015医療救護委員会／東京都医師会救急委員会 石川 秀樹
- WS6-3 2020年東京オリンピックにおけるMass-gathering Health：準備と次に繋げるために  
横浜市立大学大学院医学研究科救急医学／  
日本集団災害医学会マスギャザリングイベント医療検討委員会 森村 尚登
- WS6-4 SAMU de Parisのタフな5日間  
：パリ連続銃撃事件対応と“Je suis Charlie” marchに対するマスギャザリング医療体制  
横浜市立大学大学院医学研究科救急医学／  
日本集団災害医学会マスギャザリングイベント医療検討委員会 森村 尚登
- WS6-5 予測され得る集団災害としてのmass gathering対応—祭礼時の病院対応—  
岸和田徳洲会病院救命救急センター 鍛冶 有登
- WS6-6 東京オリンピックの医療対応  
杏林大学医学部附属病院 山口 芳裕
- WS6-7 地方都市でマスギャザリング対応医療体制を作る—福岡市での経験から—  
社会医療法人緑泉会米盛病院救急科／社会医療法人財団池友会福岡和白病院救急搬送システム部  
福岡 讓二

## ■ワークショップ8「NBCテロ対策」

第3日目（2月28日）10：30～11：50

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 大友 康裕（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野）

郡山 一明（救急救命九州研修所）

- WS8-1 東京DMAT NBC特殊チーム  
杏林大学医学部附属病院 山口 芳裕
- WS8-2 MCLS-CBRNE 試行コースの結果報告と活用  
藤沢市民病院救命救急センター 阿南 英明
- WS8-3 CBRNテロ等対抗医薬品のプリペアドネス  
国立保健医療科学院健康危機管理研究部 齋藤 智也
- WS8-4 NBC災害発生時に救急救命士は何かができるか—救急救命士が行う観察と除染について—  
東京消防庁第九消防方面本部消防救助機動部隊 松村 和夫
- WS8-5 NBC災害における医療機関と消防機関の協力体制の検討  
神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター 井上 彰
- WS8-6 TC3は東京オリンピック・パラリンピックに備えたテロ対応に必須である  
日本医科大学付属病院救命救急科 布施 明
- WS8-7 爆発物テロ災害に対する医療対応トレーニングプログラムの開発  
山梨県立中央病院救命救急センター／東京医科歯科大学救急災害医学／  
平成26年度厚生労働科学研究CBERN事態における公衆衛生対応研究班 井上 潤一

## 全ての医療従事者が学ぶべきもの

### ■パネルディスカッション8「慢性疾患への対応」

第2日目（2月27日）13：10～14：40

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 和藤 幸弘（金沢医科大学救急医学）

平尾 智広（香川大学医学部公衆衛生学）

- PD8-1 災害時における糖尿病管理について  
日本糖尿病学会／岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝内科分野 石垣 泰

- PD8-2 災害時における高血圧管理について  
日本高血圧学会／公立南三陸診療所 西澤 匡史
- PD8-3 災害時における在宅酸素療法について  
日本呼吸器学会／順天堂大学大学院医療看護学研究科臨床病態学分野呼吸器系 植木 純
- PD8-4 大規模災害時の維持透析の展開について  
日本透析医学会危機管理委員会 政金 生人

■パネルディスカッション2「小児・妊産婦への対応」

第1日目（2月26日）14：30～16：00

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 海野 信也（北里大学医学部産科学）

中尾 博之（兵庫医科大学救急災害医学講座）

- PD2-1 災害時の地域周産期医療システム  
北里大学医学部産科学 海野 信也
- PD2-2 東日本大震災の経験⇒実効性のある周産期医療対策へ  
東北大学東北メディカル・メガバンク機構 菅原 準一
- PD2-3 小児災害医療の創世  
日本小児救急医学会災害医療委員会／東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部 齊藤 修
- PD2-4 災害時の小児・周産期医療  
厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室 伊藤 友弥
- PD2-5 領域横断的な災害時母子救護システム構築の最先端  
国立保健医療科学院生涯健康研究部 吉田 穂波

■パネルディスカッション15「全国衛生部長会、全国保健所長会との合同セッション」

第3日目（2月28日）13：00～14：30

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 坂元 昇（川崎市健康福祉局）

宇田 英典（鹿児島県伊集院保健所）

- PD15-1 DHEAT（Disaster Health Emergency Assistance Team 健康危機管理支援チーム）の動き  
川崎市健康福祉局 坂元 昇
- PD15-2 大災害時における被災地域の保健医療福祉提供体制のあり方  
東北大学病院総合地域医療教育支援部 石井 正
- PD15-3 大規模災害に向けた平時からの保健行政と医療機関の連携—高知県における取り組み—  
高知県中央東福祉保健所 田上 豊資
- PD15-4 大規模災害時におけるDMATと保健行政との連携—DMATが保健行政に期待するもの—  
国立病院機構災害医療センター臨床研究部 鶴和 美穂
- PD15-5 大規模災害時における医療救護活動と保健行政の連携に求められる機能とは  
岡山大学医療教育統合開発センター 中瀬 克己
- 特別発言  
独立行政法人地域医療機能推進機構 尾身 茂

■パネルディスカッション16「全国保健師長会との合同セッション」（市民公開講座）

第3日目（2月28日）14：30～16：00

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究科看護学部長・看護学研究科長）

勝又 浜子（国立保健医療科学院統括研究官）

- PD16-1 東日本大震災における被災地東松島市の保健師活動の実態と課題  
宮城県東松島市保健福祉部健康推進課 大内 佳子
- PD16-2 大規模災害時における保健活動マニュアルの策定と活用に向けた取り組みの状況  
大阪市保健所感染症対策課（全国保健師長会常任理事） 松本 珠実
- PD16-3 大規模災害時の保健活動に求められる管理者の機能  
国立保健医療科学院健康危機管理研究部 奥田 博子
- PD16-4 大規模災害時における公衆衛生活動—保健所職員等の被災地派遣の考え方—  
新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科 坪川トモ子

## ■パネルディスカッション7「リハビリテーションの立場から災害に備える」

第2日目（2月27日）10：30～12：00

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

座長 里宇 明元（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

奥寺 敬（富山大学大学院危機管理医学・医療安全学（救急・災害医学））

- PD7-1 大規模災害とリハビリテーション支援について—救急医の立場から—  
富山大学大学院危機管理医学・医療安全学（救急・災害医学） 奥寺 敬
- PD7-2 首都直下型地震に備える：地域リハビリテーションの視点から  
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 里宇 明元
- PD7-3 南海トラフ地震に備える：行政と連携したリハの取り組み  
徳島大学病院リハビリテーション部 加藤 真介
- PD7-4 土砂災害に備える（リハビリテーションの視点）  
中国電力株式会社中電病院リハビリテーション科／公益社団法人日本理学療法士協会 梶村 政司
- PD7-5 福祉避難所のありかた：石巻での取り組みから  
東京医療保健大学東が丘・立川看護学部 石井美恵子
- PD7-6 人材育成の取り組み—災害リハ研修ツールの開発—  
大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

## ■パネルディスカッション11「コメディカルセッション」

第2日目（2月27日）15：10～16：40

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 林 茂樹（財団法人国際医療技術財団業務執行理事・常務理事）

下浦 佳之（公益社団法人日本栄養士会）

- PD11-1 日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT  
公益社団法人日本栄養士会 下浦 佳之
- PD11-2 3.11からの災害ソーシャルワーカー—石巻における医療ソーシャルワークの展開—  
公益社団法人日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓
- PD11-3 広域災害や局地災害に対する本会の取り組み  
公益社団法人日本歯科技工士会 吉田比呂志
- PD11-4 被災地救護活動をとおした高度化する災害医療における柔道整復師の役割  
公益社団法人群馬県接骨師会 原沢 研祐
- PD11-5 震災時鍼灸ケアシステムの考察  
一般社団法人福島県鍼灸師会 中沢 良平
- PD11-6 東日本大震災における活動概要  
公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 笹川 隆人

## ■パネルディスカッション4「DPAT（災害派遣精神医療チーム）セッション」

第1日目（2月26日）16：00～17：30

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 平田 豊明（千葉県精神科医療センター病院長）

丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター国内医療救援部，肝胆脾・移植外科）

- PD4-1 災害派遣精神医療チーム（DPAT）—行政の立場から—  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課心の健康支援室 伊東千絵子
- PD4-2 DPATの体制整備状況について  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所災害時こころの情報支援センター 渡 路子
- PD4-3 東日本大震災の経験から考える災害派遣精神医療チームDPATの役割  
東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座／みやぎ心のケアセンター 松本 和紀
- PD4-4 DMATとDPATとの連携—顔の見える関係—  
国立病院機構災害医療センター DMAT事務局運営室 河畷 讓

## ■パネルディスカッション3「歯科セッション」

第1日目（2月26日）15：30～17：00

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

座長 足立 了平（神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科）

三谷 智子（京都大学大学院医学研究科安寧の都市ユニット）

- PD3-1 歯科における災害対策の変遷  
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野 中久木康一
- PD3-2 東日本大震災津波後の岩手県における災害歯科保健医療政策について  
岩手県保健福祉部健康国保課 森谷 俊樹
- PD3-3 日本歯科医師会における災害への取り組みと、現状の体制  
公益社団法人日本歯科医師会 大黒 英貴
- PD3-4 日本歯科衛生士会としての災害への取組と行政（兵庫県）における活動について  
公益社団法人日本歯科衛生士会兵庫県豊岡健康福祉事務所 高橋 千鶴
- PD3-5 新潟県中越地震と中越沖地震における中長期的歯科保健医療支援活動から見てきたもの  
日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座 田中 彰
- PD3-6 災害時の歯科保健医療体制におけるラピッドアセスメントとICS概念の導入について  
神奈川県厚木保健福祉事務所保健福祉部 北原 稔

## ■パネルディスカッション17「薬剤師セッション」

第3日目（2月28日）14：30～16：30

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 西澤 健司（東邦大学医療センター大森病院）

渡邊 暁洋（日本医科大学千葉北総病院薬剤部）

- PD17-1 日赤薬剤師会災害救護委員会の取り組み  
武蔵野赤十字病院薬剤部 原田 真理
- PD17-2 高知県における災害薬事コーディネーター活動  
高知県健康政策部医事薬務課 西森 郷子
- PD17-3 災害医療における医薬品従事者の連携—平時にできる事—  
鳥取大学医学部附属病院薬剤部 涌嶋伴之助
- PD17-4 薬剤師としての災害医療におけるメディカル・ロジスティクスの経験と展望  
日本赤十字社医療センター薬剤部／国際医療救援部 小林 映子
- PD17-5 熊本県災害薬事コーディネーターとしての活動—広域医療搬送訓練を経験して—  
公益社団法人熊本県薬剤師会 藤井憲一郎

PD17-6 災害時における大阪府医薬品卸協同組合の連携と医薬品投入訓練からみえた課題  
大阪府立急性期・総合医療センター薬局 藤江 直輝

PD17-7 災害薬事研修の画一化に向けて  
日本医科大学千葉北総病院 渡邊 暁洋

■パネルディスカッション14「看護師セッション」

第3日目（2月28日）13：00～14：30

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 石井美恵子（東京医療保健大学東が丘・立川看護学部）

長田 恵子（国立病院機構災害医療センター看護部）

PD14-1 DMAT看護師の在り方

国立病院機構信州上田医療センター 高野 博子

PD14-2 御嶽山噴火災害におけるDMAT派遣から見たもの—救護班への引き継ぎの経験から—

長岡赤十字病院救命救急センター 黒崎 祐也

PD14-3 御嶽山火山災害のDMATによる病院支援活動から見たこと

諏訪赤十字病院救命救急センター 片瀬 大介

PD14-4 東北に学び首都直下・南海トラフに備える—すべての医療従事者が学ぶべきもの—

国立病院機構災害医療センター 中村 香代

■パネルディスカッション10「診療放射線技師セッション」

第2日目（2月27日）13：40～15：10

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

座長 小川 清（公益社団法人日本診療放射線技師会）

小笠原 哲（国立病院機構災害医療センター中央放射線部）

基調講演3 13：40～14：10

「集団災害における診療放射線技師の役割」

特定非営利活動法人立ち上がるぞ！宮古市田老 大棒 秀一

パネルディスカッション10 14：10～15：10

PD10-1 災害拠点病院を対象とした調査からみえた災害時における  
放射線部門のデジタル運用の整備状況

神戸赤十字病院 中田 正明

PD10-2 X線撮影システムの国内災害時での運用を目指して

—国際緊急援助隊（JDR）医療チームの活動を踏まえて—

国立病院機構災害医療センター中央放射線部 武田 聡司

PD10-3 福島県内の被災当時の状況と今後の対策について

公益財団法人星総合病院医療技術部放射線科 佐久間守雄

PD10-4 日本診療放射線技師会の活動—福島での経験を今後はどう繋げるか—

川崎市立川崎病院放射線診断科 小野 欽也

■パネルディスカッション13「ロジスティックセッション」

第3日目（2月28日）10：30～11：50

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 中田 敬司（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科）

楠 孝司（国立病院機構村山医療センター）

PD13-1 DMATロジスティックチーム隊員養成研修

国立病院機構災害医療センター 市原 正行

- PD13-2 災害医療ロジスティックスの人材育成における課題と取り組み  
国際協力機構国際緊急援助隊事務局 大友 仁
- PD13-3 災害時における医療ロジスティックスの教育・訓練について  
日本災害医療ロジスティック協会 春田 謙
- PD13-4 第2回日本災害医療ロジスティックス研修  
—東日本大震災被災地を会場とした大規模ロジスティックス研修—  
岩手医科大学医学部災害医学講座 藤原 弘之
- PD13-5 赤十字のロジスティック教育の現状  
日本赤十字社長野県支部組織振興課 北川原 亨

## ■パネルディスカッション5「災害医学基礎教育」

第2日目（2月27日）9：00～10：20

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

座長 石井美恵子（東京医療保健大学東が丘・立川看護学部）

溝端 康光（大阪市立大学大学院医学研究科救急医学）

- PD5-1 災害医学の卒前教育について  
横浜市立大学大学院医学研究科救急医学／  
日本救急医学会救急医学領域教育研修委員会救急医学教育カリキュラム検討WG 森村 尚登
- PD5-2 災害医療に関する薬学教育の現状と課題  
日本医科大学千葉北総病院 渡邊 暁洋
- PD5-3 学生部会の立ち上げ  
国立国際医療研究センター国際医療協力局 仲佐 保
- PD5-4 大規模地震災害訓練に模擬被災者として参加した医学生、看護学生の貴重な経験  
—災害医療への学習意欲に与える影響—  
奈良県立医科大学医学部医学科 中務 智彰
- PD5-5 看護基礎教育の課程として「災害看護学コース」を開設して  
東京医療保健大学 草間 朋子

## 学際連携企画

### ■シンポジウム5 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会連携企画1

「放射線災害を考える～福島を教訓に～」

第2日目（2月26日）9：50～11：50

第4会場（ザ・クレストホテル立川 3階 富士）

座長 森口 祐一（廃棄物資源循環学会／東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

- SP5-1 放射線災害を考える—福島を教訓に—  
日本原子力学会／科学技術振興機構革新的研究開発推進プログラム 藤田 玲子
- SP5-2 大地震の長期予測の現状  
日本地震学会／東京大学地震研究所 佐竹 健治
- SP5-3 原発事故由来の放射性物質による環境汚染と廃棄物問題  
廃棄物資源循環学会／東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 森口 祐一
- SP5-4 原子力災害における日本赤十字社の対応  
日本赤十字社医療センター国内医療救援部、肝胆膵・移植外科 丸山 嘉一
- 特別発言  
ツル虎の門外科・リハビリテーション病院 前川 和彦

■シンポジウム6 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会連携企画2  
「災害拠点病院とまちづくり」

第2日目 (2月27日) 9:50~11:50

第4会場 (ザ・クレストホテル立川 3階 富士)

座長 和田 章 (日本免震構造協会/東京工業大学名誉教授)

SP6-1 都市計画とロジスティクスからみた災害拠点病院のあり方

日本都市計画学会/流通経済大学流通情報学部 苦瀬 博仁

SP6-2 仙台市立病院の計画と設計

日本建築学会/株式会社山下設計 藤田 衛

SP6-3 災害拠点病院と地域社会の連携からみた論点提示  
: 地域安全学会に所属する研究者としての立場から

地域安全学会/東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター 加藤 孝明

SP6-4 地震や津波に起因する大規模火災のリスク: 災害医療と火災研究のコラボレーションの可能性

日本火災学会/建築研究所 西野 智研

SP6-5 市民は東海地震時に災害医療の何ができるのか

静岡県立総合病院 安田 清

特別発言

兵庫県災害医療センター 鶴飼 卓

■シンポジウム7 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会連携企画3  
「首都直下・南海トラフにどう備えるか—人的被害を減らすために—」

第2日目 (2月27日) 13:10~15:10

第4会場 (ザ・クレストホテル立川 3階 富士)

座長 米田 雅子 (慶應義塾大学先端研究センター特任教授)

SP7-1 東日本大震災の復興まちづくりから見た防災まちづくりの課題

土木学会/東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門 平野 勝也

SP7-2 地下構造と地震災害—地盤情報の重要性—

地盤工学会/京都大学大学院工学研究科 三村 衛

SP7-3 地方都市の大災害に備える

日本自然災害学会/長崎大学名誉教授 高橋 和雄

SP7-4 地震被害予測における活断層情報の意義—内陸活断層地震に対する救助活動計画への助言—

日本活断層学会/独立行政法人産業技術総合研究所 吾妻 崇

SP7-5 広域大災害に備えた市民地域連携

—災害時地域医療連携訓練, 地域文化を次世代へつなげるために—

医療法人社団駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院MQM推進課 川島 一郎

特別発言

医療法人社団大坪会東和病院 山本 保博

■シンポジウム9 日本自治体危機管理学会連携企画

「医療機関のBCPと自治体の災害医療計画」

第3日目 (2月28日) 9:00~10:30

第5会場 (ザ・クレストホテル立川 3階 桐)

座長 鍵屋 一 (法政大学大学院講師/板橋区議会事務局)

本間 正人 (鳥取大学医学部救急災害医学)

SP9-1 自治体の危機管理—健康危機への対応—

明治大学名誉教授/日本自治体危機管理学会会長 中邨 章

- SP9-2 県を中心とした医療機関と関連団体の連携した取り組み—鳥取県における5年間の歩み—  
鳥取大学医学部救急災害医学 本間 正人
- SP9-3 大規模地震に対するBCPと事前の取り組みについて  
南町田病院 矢野 正雄
- SP9-4 国分寺市における災害時の医療救護体制について  
国分寺市市長 井澤 邦夫

## 記念年次関連セッション

### ■シンポジウム1「阪神大震災～20年の月日を経て～」

第1日目（2月26日）10：20～11：50

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 吉岡 敏治（大阪府立急性期・総合医療センター）

中山 伸一（兵庫県災害医療センター）

- SP1-1 教訓の扱いから得られた教訓  
航空自衛隊航空医学実験隊司令 山田 憲彦
- SP1-2 大災害時の広域応援体制について 消防・危機管理の立場から  
神戸学院大学現代社会学部 松山 雅洋
- SP1-3 阪神大震災における兵庫県監察医務室の検案活動  
東京都監察医務院 福永 龍繁
- SP1-4 阪神淡路大震災後の急性期災害医療体制の発展—4期に分けた考察から—  
鳥取大学医学部救急災害医学 本間 正人
- SP1-5 わが国におけるCSM この20年の歩みと今後の展望  
山梨県立中央病院救命救急センター／JICA国際緊急援助隊救助チーム医療班 井上 潤一
- SP1-6 災害時医療対応システムの確立に向けて：阪神・淡路大震災から20年を経て  
兵庫県災害医療センター 中山 伸一

### ■シンポジウム2「地下鉄サリン事件～20年の月日を経て～」

第1日目（2月26日）14：30～16：00

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 奥村 徹（警視庁警務部警察共済組合警視庁支部警察学校）

中村 勝美（環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室）

- SP2-1 東京地下鉄サリン事件 残された課題  
警視庁警務部警察共済組合警視庁支部警察学校 奥村 徹
- SP2-2 地下鉄サリン事件と陸上自衛隊の対応  
環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室 中村 勝美
- SP2-3 サリンガス中毒の臨床像を共有する—松本・地下鉄両サリン事件の特殊性にとらわれないために—  
富山大学大学院危機管理医学・医療安全学（救急・災害医学） 奥寺 敬
- SP2-4 国民保護共同訓練について  
内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付 加藤 主税
- SP2-5 地下鉄サリン事件以降の東京消防庁のNBC災害対策  
太陽ステンレススプリング株式会社 三好 和人
- SP2-6 化学テロから人命を守るためには：中毒情報センターの対応と国民保護訓練のあり方  
大阪府立急性期・総合医療センター／公益財団法人日本中毒情報センター 吉岡 敏治

■シンポジウム4「中越地震～10年の月日を経て～」

第1日目（2月26日）16：00～17：30

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

座長 高橋 昌（新潟大学医学部災害医療教育センター）

江部 克也（長岡赤十字病院救命救急センター）

- SP4-1 新潟県中越地震のエコノミークラス症候群：10年の推移経過  
新潟大学医歯学系呼吸循環外科／新潟大学災害・復興科学研究所 榛沢 和彦
- SP4-2 新潟県中越地震、中越沖地震の経験は東日本大震災で活かされたのか？  
長岡赤十字病院救命救急センター 内藤万砂文
- SP4-3 被災地の医師会の役割  
医療法人坦誠会根元整形外科医院 根元 純一
- SP4-4 新潟県中越地震における新潟市民病院の医療活動  
—プレDMAT, プレ災害医療コーディネーター時代—  
新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター 廣瀬 保夫
- SP4-5 「中越地震」への大いなる反省から、「中越沖地震」での対応へ  
村上総合病院外科 林 達彦
- SP4-6 新潟県中越・中越沖地震における新潟大学病院の役割と災害医療における内科医の関わりについて  
新潟大学大学院医歯学総合研究科健康増進医学講座 田中 純太

■シンポジウム11「インド洋スマトラ沖地震～10年の月日を経て～」

第2日目（2月27日）9：50～11：50

第5会場（ザ・クレストホテル立川 5階 桐）

座長 横田 裕行（日本医科大学大学院医学研究科救急分野）

甲斐 達朗（大阪府済生会千里病院）

基調講演2 9：50～10：20

“Moving forward from Sumatra Earthquake lesson learnt”

National Institute for Emergency Medicine Wiwat Seetamanotch

シンポジウム11 10：20～11：50

- SP11-1 スマトラ沖地震津波災害から学ぶもの—JDRスリランカ国医療支援の経験から—  
日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野 横田 裕行
- SP11-2 スマトラ沖地震津波災害に対するインドネシア・バンダアチェにおける国際緊急援助隊による緊急医療支援活動  
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 甲斐 達朗
- SP11-3 タイ王国国際医療支援の経験から学ぶもの  
松尾医院 松尾 信昭
- SP11-4 スマトラ沖大地震・インド洋津波災害に対する国際緊急援助隊救助チームの活動報告  
海上保安庁総務部国際・危機管理官付専門官 稲葉 健人
- SP11-5 インド洋スマトラ島沖地震  
防衛医学研究センター感染症疫学対策研究官 加來 浩器

■教育講演3「御巣鷹—日本航空機墜落事故—」

第2日目（2月27日）9：20～9：50

第5会場（ザ・クレストホテル立川 3階 桐）

前田 陽子（前橋赤十字病院）

座長 丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター国内医療救援部，肝胆膵・移植外科）

特別発言 饗場 庄一（前橋赤十字病院）

■教育講演5「DMATの設立と今後」

第3日目（2月28日）9：20～10：00

第1会場（たましんRISURUホール 2階 大ホール）

辺見 弘（国立病院機構災害医療センター名誉院長）

座長 野口 宏（愛知県救急医療情報センター）

■記念講演「阪神淡路大震災から20年—県立淡路病院のメッセージ—」

第1日目（2月26日）17：30～18：30

第3会場（たましんRISURUホール 5階 第1会議室）

水谷 和郎（神戸百年記念病院内科医長）

## 緊急報告

---

■緊急報告1「広島土砂災害」

第3日目（2月28日）13：10～14：10

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 岩崎 安博（和歌山県立医科大学救急集中治療部）

笠岡 俊志（熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部）

緊急報告1-1 平成26年8月豪雨災害における広島県DMAT調整本部活動報告

県立広島病院DMAT／広島県保健福祉局医療政策課 山野上敬夫

緊急報告1-2 平成26年8月豪雨災害における救急救命士による静脈路確保および輸液症例の検討

広島市消防局 中川 智晴

緊急報告1-3 広島県豪雨土砂災害におけるCSM活動の実際—看護師の役割—

広島大学病院高度救命救急センター 佐々 智宏

緊急報告1-4 広島豪雨災害におけるロジスティクスについて

社会医療法人里仁会興生総合病院管理課 田治 明宏

緊急報告1-5 DMAT活動拠点本部の報告

県立広島病院救急科 多田 昌弘

緊急報告1-6 広島土砂災害におけるDPATの活動報告

中山心療クリニック 中山 純維

■緊急報告2「御嶽山噴火」

第3日目（2月28日）14：10～15：10

第2会場（たましんRISURUホール 3階 小ホール）

座長 有村 敏明（鹿児島市医師会病院副院長）

小澤 修一（神戸赤十字病院）

緊急報告2-1 長野県立木曽病院DMAT活動拠点本部の立ち上げと引継ぎ

JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 佐藤 栄一

緊急報告2-2 長野県木曽御嶽山噴火災害における，長野県庁内DMAT調整本部での統括DMATの経験

長野赤十字病院第二救急部 古澤 武彦

- 緊急報告2-3 木曾御嶽山噴火災害の現地活動拠点本部の振り返り  
長野赤十字病院救命救急センター 岩下 具美
- 緊急報告2-4 岐阜県における御嶽山噴火被災者医療救援活動  
高山赤十字病院 白子 隆志
- 緊急報告2-5 御岳山噴火災害における山岳医としてのDMAT活動  
相澤病院救命救急センター 上條 剛志
- 緊急報告2-6 御嶽山噴火における救急救助活動事例について  
木曾広域消防本部木曾消防署 征矢野泰史
- 緊急報告2-7 御嶽山噴火に伴う災害派遣における医療活動について  
陸上自衛隊第12後方支援隊衛生隊 永井野康徳

## 国際連携セッション

### ■ “Establishment of Thai DMAT and the Japanese cooperation for Disaster / Emergency Medicine in the ASEAN region” (同時通訳あり)

第3日目 (2月28日) 9:30~10:30

第2会場 (たましんRISURUホール 3階 小ホール)

座長 大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 甲斐 達朗

独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊事務局 鈴木 規子

演者 National Institute for Emergency Medicine, Thailand Phumin Silapunt

安達 一 (独立行政法人国際協力機構社会基盤・平和構築部)

甲斐 達朗 (大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

小井土雄一 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

## 優秀演題・病院災害対策マニュアル・コンペティション

### ■ 優秀演題1

第2日目 (2月27日) 15:10~16:00

第3会場 (たましんRISURUホール 5階 第1会議室)

座長 黒田 泰宏 (香川大学医学部)

須崎紳一郎 (武蔵野赤十字病院救命救急センター)

優秀演題1-1 自治体の情報基盤を活用した防災・医療・保健・福祉部門等の  
情報連携体制構築の取組みについて

徳島大学大学院先端科学技術教育部／徳島県危機管理部危機管理政策課 坂東 淳

優秀演題1-2 災害時健康情報の実践的集計報告システムJ-SPEED

産業医科大学医学部公衆衛生学／国際緊急援助隊医療チーム課題検討会「電子カルテ」  
久保 達彦

優秀演題1-3 離島からの災害弱者避難に伴う問題点

医療法人伯鳳会白鬚橋病院看護部 中川 真琴

優秀演題1-4 エマルゴを「生かす」

横浜市立市民病院 堀内 義仁

優秀演題1-5 傷病者の複数機ヘリ搬送を想定した高速道路訓練

手稻溪仁会病院救命救急センター／道央ドクターヘリ運航調整委員会高速道路部会  
高橋 功

## ■優秀演題2

第2日目 (2月27日) 16:00~17:00

第3会場 (たましんRISURUホール 5階 第1会議室)

座長 佐々木 勝 (東京都立広尾病院)

竹内 一郎 (北里大学病院救命救急災害医療センター)

優秀演題2-1 FY25, 26広域医療搬送訓練から見た医療搬送計画と病院支援

兵庫県災害医療センター 川瀬 鉄典

優秀演題2-2 地震後の病院施設被害を想定した事務系職員対象の研修プログラムの開発

摂南大学大学院工学研究科社会開発工学専攻 東 知美

優秀演題2-3 ポリスチレンスルホン酸ナトリウムカラムにおけるカリウム吸着能の再生

新潟大学医歯学総合病院臨床工学部門 近藤 友希

優秀演題2-4 避難所健康環境改善に必要な簡易ベッドと洋式トイレ:

東日本大震災と広島土砂災害のDVT検診結果から

新潟大学大学院呼吸循環外科 榛沢 和彦

優秀演題2-5 東日本大震災の災害支援活動における陸上自衛隊のメンタルヘルス施策

防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門 長峯 正典

優秀演題2-6 福島第一原発事故が避難指示地域の救急搬送に与えた影響

相馬中央病院 森田 知宏

## ■優秀演題3

第3日目 (2月28日) 13:10~13:50

第3会場 (たましんRISURUホール 5階 第1会議室)

座長 稲葉 英夫 (金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学)

松原 峰生 (大津赤十字病院高度救命救急センター)

優秀演題3-1 浜松市における中学校区単位の南海トラフ地震の人的被害及び患者数推定とマップの作成

浜松医科大学医学部健康社会医学講座 尾島 俊之

優秀演題3-2 遺体様歯科マネキンを用いた身元確認研修プログラム

神奈川歯科大学大学院歯学研究科横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター/  
神奈川歯科大学大学院歯学研究科災害医療歯科学講座法医歯科学分野 山本伊佐夫

優秀演題3-3 災害時における義歯治療とケアに関する研究

—緊急用義歯製作とセルフクリーニングデンチャーの開発—

神奈川歯科大学大学院横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター 星 憲幸

優秀演題3-4 災害時の住民避難に対する民間フェリー活用訓練の報告

青森県立中央病院救命救急センター 小笠原 賢

## ■優秀演題4

第3日目 (2月28日) 13:50~14:40

第3会場 (たましんRISURUホール 5階 第1会議室)

座長 齋藤 大蔵 (防衛医科大学校防衛医学研究センター)

高階謙一郎 (京都第一赤十字病院救命救急センター)

優秀演題4-1 仮設住宅生活による長期健康被害についての前向きコホート研究

相馬中央病院内科 越智 小枝

優秀演題4-2 東日本大震災3年後の被災地生活環境によるDVT陽性率の較差

石巻赤十字病院呼吸器外科 植田 信策

優秀演題4-3 DVT検診からみた仮設住宅団地における生活習慣病の変化

福井大学医学部地域医療推進講座 山村 修

- 優秀演題4-4 院内災害訓練の評価と検証 SWOT分析を用いた災害対策マニュアルの整備  
名古屋第二赤十字病院医療社会事業部社会課 中島 久斗
- 優秀演題4-5 積雪寒冷地域の冬期被災を想定した簡易型暖房避難所の設営  
日本赤十字北海道看護大学看護薬理学領域 根本 昌宏

■病院災害対策マニュアル・コンペティション

第2日目 (2月27日) 17:00~18:00

たましんRISURUホール 5階 第7会議室

座長 磯部尚志 (国立病院機構姫路医療センター救急診療科)

- 病院災害対策マニュアル1 県立広島病院災害対応マニュアル  
県立広島病院 桂藤 和司
- 病院災害対策マニュアル2 愛知医科大学病院 新病院大規模災害マニュアル  
愛知医科大学病院高度救命救急センター 川谷 陽子
- 病院災害対策マニュアル3 国立病院機構九州医療センター 災害対策マニュアル  
国立病院機構九州医療センター災害対策委員会 川鍋 育郎
- 病院災害対策マニュアル4 東京都の災害医療体制に合わせた日野市立病院災害マニュアルとBCPの作成  
日野市立病院救急災害コーディネーター 張替 健
- 病院災害対策マニュアル5 地震発生時の対応の見直しによるアクションカードの作成  
国立病院機構仙台西多賀病院 菊池 真貴
- 病院災害対策マニュアル6 国保日高総合病院災害対策マニュアル  
国保日高総合病院 藤本 順智
- 病院災害対策マニュアル7 災害医療センター BCP災害対応マニュアル  
国立病院機構災害医療センター看護部救命救急病棟 花房 亮
- 病院災害対策マニュアル8 迅速な被災状況把握を目指して  
社会医療法人財団大和会東大和病院看護部 花土あゆみ
- 病院災害対策マニュアル9 肥前精神医療センター大規模災害マニュアル  
国立病院機構肥前精神医療センター 高尾 碧